会報 あおいろ

第86号

■発　行　No.86（平成26年1月6日）

一般社団法人　北那覇青色申告会
〒902-0068　沖縄県那覇市字真嘉比252-40
☎ (098) 886-4010 (代)　(098) 886-1205
E-mail　info@kitanaha-aoiro.net
ホームページ　http://www.kitanaha-aoiro.net

あなたのそばで
あなたを応援！

謹賀新年

もくじ

2～3 年頭のあいさつ
4 決算準備説明会
5 青色教室
6 ゴルフ同好会
7 女性部視察研修
8 県連ひろば
9 納貯組合ニュース

年頭のあいさつ

青色申告手続コーナーの充実!!

一般社団法人 北那覇青色申告会
会長　儀保宜裕

明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年中は、会員の皆様を始め、役員の皆様並びに税務当局や関係諸団体各位の深いご理解とご協力のお陰で、本会の事業活動も円滑に運営することができましたことを心から感謝申し上げます。

昨年度は、税務当局が国税電子申告・納税システム（e－Tax）の普及及び定着に向けて取り組んでいるなか、平成二十四年分確定申告は、青色申告会が開発した短時間でe－Taxが送信できるパソコン用会計ソフト「ブルーリターンA」を活用し、更に税理士会のご協力の下、代理送信による電子申告の普及拡大に努め順調に推移いたしました。本年度は、前年を上回る電子申告の普及拡大を積極的に取り組んでまいりますので、役員を始め会員の皆様方にも尚一層のご理解をいただき、ご協力をお願い申し上げます。

さて、日本経済は長引くデフレ不況から安倍政権の経済政策「アベノミクス」によって、国内景気が改善のきざしが見え始めたものの、小規模事業者を取り巻く経営環境はいまだに厳しい状況が続いております。平成二十六年度より消費税率が引き上げられる中、本年度の改正要望は個人事業者に経営活力を呼び戻すために、全国の青色申告会の仲間とともに重点項目として「事業主報酬制度」「事業承継税制」の早期実現、そして「青色申告特別控除十万円を三十万円に引き上げ」を要望集会において読み上げ採択され、更に地元国会議員へ陳情してまいりましたが、残念ながら見送られました。本会においても、青色申告活動の一環として早期の実現に向けて全青色とともに要望してまいります。

また、本年度の確定申告期は、白色申告者の記帳義務化により対象者が拡大されることから、税務当局は青色申告普及拡大を図るため、那覇税務署・北那覇税務署の合同署外会場「浦添市産業振興センター・結の街」に「青色申告手続コーナー」を設置し、取り組む予定をしております。このようなことから、本会においてもコーナーの充実を図り、新たな青色申告者の仲間を増やし記帳指導を重点的に取り組み、納税者団体としての社会的責任を充分に発揮したいと思います。確定申告期は、会活動の総決算としてのメインイベントでもあり、青色申告普及拡大と組織の活性化を図るためにも、会員増強が重要でありますので、新会員として知人・友人・同業者をご紹介いただきますよう、役員を始め会員の皆様にもご支援ご協力をお願い申し上げます。

いよいよ確定申告が始まります。平成二十五年分の確定申告は「沖縄納税研修会館」が指導会場になっておりますので、早めに来局くださいますようお願い申し上げるとともに、会員の皆様の相談業務に万全を期して効率的な指導相談を行ってまいります。

結びになりましたが、会員の皆様のご健勝と事業のますますのご繁栄を心から祈念申し上げ、新年のあいさつとします。

e－Taxの普及拡大を!!

北那覇税務署
署長　久保和彦

新年あけましておめでとうございます。

平成二十六年の年頭に当たり、北那覇青色申告会の皆様に、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

旧年中は、儀保会長をはじめ役員、会員並びに事務局の皆様方には、税務行政全般にわたり深いご理解と多大なるご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年を顧みますと、貴会におかれましては、記帳点検事業や各種説明会等を通じて会員の皆様からの「より質の高い記帳」という要望に応えるとともに、e-Taxの利用促進に対する取り組みや青年部や女性部を中心に小学生に対する租税教室など、幅広い活動を積極的に展開されました。

特にe-Taxの利用につきまし

あけましておめでとうございます

会長　儀保宜裕
副会長　新本乗義
〃　桃原康一
〃　宮城太榮
〃　與那城博司
〃　宮城恵美子
専務理事　仲本政祥

ては、皆様方のご理解とご協力により「税理士による代理送信」を含め著しい成果を挙げられました。

皆様のご尽力に対し深く敬意を表しますとともに、更に活発な会活動を展開され、引き続き魅力ある会となられるようご期待申し上げます。

さて、税務行政を取り巻く環境は、経済社会の構造の変化に伴い、一段と厳しさを増しております。私どもといたしましては、我が国の税制の基本である申告納税制度が円滑に機能するよう、「適正かつ公平な課税及び徴収の実現」に向けて、引き続き、職員一同取り組んでまいります。

しかしながら、国民の皆様からの負託に応え、信頼される税務行政を行っていくためには、私どもの取り組みに加え青色申告会をはじめとする関係民間団体の皆様のご理解とご協力が不可欠であると考えておりますので、より一層のご支援とご協力をお願いいたします。

まもなく、平成二十五年分の確定申告期を迎えますが、会員の皆様方におかれましては、e-Taxの普及拡大並びに青色コーナーの運営などに対しまして、より一層のご協力を賜りますようよろしくお願いします。

景気はまだまだ厳しい状況でありますが、昨年は、アベノミクス効果やオリンピックの東京開催決定など明るい話題も多々ありました。

今年も、より多くの明るい話題があることを願うとともに、少しずつでも景気が上向きになり、明るく希望の持てる年になることを願っております。

結びに当たりまして、北那覇青色申告会の益々のご発展と、会員の皆様のご健勝と事業のご繁栄の年となりますよう心から祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

日頃の記帳処理をしっかりと!!

沖縄税理士会北那覇支部
支部長　福　直治

新年明けましておめでとうございます。一般社団法人北那覇青色申告会の会員の皆様には輝かしい希望に満ちた新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

貴会におかれましては、納税道義の高揚と申告納税制度の確立並びに地域の中小企業者の事業の発展を図るため、個人の税務・経理・経営に関する指導・研修を開催し、青色申告制度の普及拡大に努めておりますことに深く敬意を表する次第であります。

ところで、平成二十六年から記帳・帳簿等の保存制度の対象者が拡大され、事業所得、不動産所得、山林所得を生ずべき業務を行う全ての事業者が対象になります。青色申告者だけでなく、白色申告者を含む全ての事業者が記帳・帳簿保存制度の対象者になります。私たち沖縄税理士会北那覇支部は、貴会や北那覇税務署と協力いたしまして青色申告への勧奨を行い、この改正内容に対する周知や、記帳指導等を行っていきたいと思います。また、平成二十六年四月から消費税率が5%から8%へ変更となります。消費税の課税事業者の方々は消費税改正にともない会計処理や税務申告においては北那覇青色申告会の研修等を受講されていることと思いますが、消費税率改正後の売上の減少や消費税転嫁等事業運営に対し万全のご準備をしていただきますようお願い申し上げます。

我々沖縄税理士会北那覇支部は、「沖縄納税研修会館」を中心に行われる各種研修会や電子申告・電子納税の普及定着等の北那覇青色申告会の各種事業活動に積極的に協力し、青色申告会会員企業のご発展・ご繁栄に尽力してまいります。

また、沖縄税理士会も真に国民から信頼される税理士制度を確保するため、税理士法を始めとした各税法、法律等の研修会を実施し綱紀厳正な保持と税の専門家としての知識の研鑽に努めてまいります。

結びにあたり、新しい年が一般社団法人北那覇青色申告会並びに会員の皆様にとって実り豊かな発展の年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

理事長　本良彦
〃　銘苅政文
〃　久高将明
〃　屋部良明
〃　新垣勉
〃　日渡勝彦
〃　城間政信
〃　比嘉一夫
〃　翁長美津男
〃　豊里友一
〃　座波弘子
〃　松本秋松
〃　宮城辰三
〃　當眞嗣成
〃　上間仁助
〃　小川義二
監事　金城武雄
〃　仲本清弘
久米島支部長　山里昌伸
渡嘉敷支部長　平田春吉
座間味支部長　宮平安弘
南大東支部長　磯崎吉正
北大東支部長　沖山武
女性部長　島袋輝子
青年部長　比嘉透

各地域で決算準備説明会開催される!!

税理士
中村　利江　氏

税理士
屋比久　功　氏

税理士
新垣　隆顕　氏

いよいよ決算の時期が近づいてまいりました。今年も誤りのない決算と申告をして頂くため、決算準備説明会を本島地区においては、本会の新垣隆顕顧問税理士（不動産所得者）、屋比久功税理士（那覇・浦添地区事業所得者）、中村利江税理士（西原地区事業所得者）の先生方に講師を依頼し、離島地区については、担当職員で次のとおり開催致しました。

説明会は、平成二十五年分から適用となる復興特別所得税の改正や平成二十六年四月一日より税率引き上げが決まっている消費税の経過措置等、とくに個人事業者がかかわる税制改正事項や所得税と消費税の誤りやすいポイント、国税電子申告（e-Tax）の仕組みや利用方法など実例や例題を交えて説明がなされ、会員の皆様からも質疑の絶えない熱心な説明会でした。

最後に、会員の福利厚生の充実を図るための各種共済制度の利用及び平成二十五年分の申告に向けて早めに準備をして頂くよう呼びかけた。

12月2日～3日	南大東村役場
12月3日～4日	北大東村役場
12月9日～10日	阿嘉島離島総合センター
12月12日～13日	座間味村離島総合センター
12月13日	西原町中央公民館
12月13日	久米島町役場具志川庁舎
12月18日	浦添市産業振興センター（不動産）
〃	〃
12月20日	阿波連生活館

「減価償却」説明会

去る十二月五日（木）、沖縄納税研修会館三階研修室に於いて、仲本専務理事による、減価償却説明会が開催されました。

減価償却とは、時間の経過とともに資産の価値の減少を、耐用年数によって各会計年に費用を配分することです。主な内容は、減価償却のしくみや計算方法、一括償却資産、少額減価償却資産、中古の資産を取得した場合の耐用年数の見積等の説明をしていただきました。講座終了後は多くの質問があり、大変関心の高い説明会となりました。

不動産賃貸業
桃原商事株式会社
代表取締役社長　桃　原　康　一
〒900-0016　沖縄県那覇市前島１丁目18番12号　ダイナスティービル802
電　話（098）861-2210　FAX（098）861-2835

おめでとうございます。

本会の役員として多年にわたり組織の拡大・育成につとめられるとともに青色申告制度に大きく貢献されました。

◎平成二十五年度納税表彰
○沖縄国税事務所長納税表彰
沖縄県青色申告会連合会　会長
一般社団法人　北那覇青色申告会　会長
儀保宜裕

青色教室「第十三期生」修了式！

（午前コース：営業収入の部）

（午後コース：不動産収入の部）

五月二十八日（火）に開講し、七ヶ月間・十六回の講座を通して記帳から決算・申告までマスターすることを目的として、午前（事業所得者向け）と午後（不動産所得者向け）の二つのコースを設けて開催した青色教室「第十三期生」の修了式が、去る十一月五日（火）に沖縄納税研修会館三階研修室にて行われました。

修了式では始めに、講師の大城相談課長（午前）・宇栄原相談員（午後）がこれまでのまとめと減価償却資産の売却についての説明を行い、その後、午前のコースでは當眞嗣成事業広報委員長、午後のコースでは仲本政祥専務理事より、受講者一人一人に修了証書の授与と激励のあいさつをいただきました。

受講された方々からは「始めは簿記がわからなかったが、この講座を受講して少しずつ理解することが出来た。この講座で学んだことを活用して自分の帳簿をつけていきたい」といった声が聞かれました。

最後に、この七ヶ月間共に学んできた受講者全員で記念撮影を行い、修了式を締めくくった。

来年度も引き続き「青色教室（第十四期生）」を開講していきますので、事業を始めたばかりの方、実務未経験の方、現在の記帳方法が不安な方、青色申告特別控除六十五万円を活用したい方等、この機会にあなたもチャレンジしてみませんか。

ときわ美容室

営業時間／AM9:30～PM7：00　定休日／毎週火曜日

〒903-0804 那覇市首里石嶺町4-9-1

TEL 885-6500・885-5314（FAX兼用）

久米島支部パークゴルフ大会

去る十一月十七日（日）久米島支部会員親睦パークゴルフ大会が（公社）北那覇法人会共催で参加者多数の下、久米島シーサイドパークゴルフ場にて開催されました。

晴天の心地良い風が吹く中、法人会司会進行でルール説明がなされ、四人一組になりゲームがスタートしました。

難易度が異なる2コースを回り、起伏のある芝生に悪戦苦闘しながら思い通りにいかないボールに一喜一優しながらも最後までゲームを楽しんでおりました。

ゲーム終了後、表彰式と併せて懇親会が行われ、ゲーム結果の反省点や近況報告を交わすなど、和やかに会員同士の親睦を図る中、田端税務課長よりお言葉を頂き、パークゴルフ大会、懇親会を無事終了致しました。

パークゴルフ大会の表彰入賞者は次の方々です。

優　勝　當間　清保（北那覇法人会）
準優勝　与座　朝雄（北那覇青色申告会）
三　位　小橋川町子（北那覇青色申告会）

ゴルフ同好会

会員の親睦を目的に、青色申告会ゴルフコンペを偶数月の第四木曜日に沖縄カントリークラブにおいて開催しております。ゴルフが好きな方、この機会に同好会に入会しませんか。

詳しくは事務局まで

優勝者（平成二十五年度）

第七十五回	佐久本盛雄	G 84 HC 8.2 N 75.8
第七十六回	石山　猛	G 97 HC 25.2 N 71.8
第七十七回	外間　良盛	G 84 HC 10.1 N 73.9
第七十八回	島元　辰夫	G 89 HC 30.0 N 59.0
第七十九回	石山　猛	G 84 HC 25.4 N 58.6
第八十回	又吉　勉	G 95 HC 20.0 N 75.0

白色申告者記帳説明会

平成二十六年一月から白色申告者にも記帳・帳簿等保存制度の対象者が拡大されることを踏まえて、北那覇税務署主催による白色申告者記帳説明会が十一月十一日から十五日（税を考える週間）の五日間、沖縄納税研修会館研修室（北那覇青色申告会）において参加者多数のもと行われました。

本会の職員が講師となり、白色申告者のうち、新たに記帳を行う方や記帳の仕方がわからない方のために、記帳・記録保存制度の概要や記帳の仕方、青色申告の特典等を説明いたしました。

〔対象となる方〕

事業所得、不動産所得又は山林所得を生ずべき業務を行う全ての方です。

※所得税の申告の必要がない方も、記帳・帳簿等の保存制度の対象となります。

会員の皆様へお願い

これまで記帳義務等のなかった方については、今後の記帳方法の確認や青色申告を検討することが必要になるものと考えられますので、近隣の事業者や同業者等でお困りの方がいらっしゃいましたら、ぜひ青色申告会をご紹介ください。

松川小で「租税教室」開催

小学生に税金の仕組みや使われ方を知ってもらおうと、「租税教室」を十一月二十一日（木）、那覇市立松川小学校で本会の大城相談課長が講師として授業を行いました。六年生児童ら九十五人が参加し、税金の必要性や納税の大切さをアニメやクイズを通して学んで頂きました。

“くらしに安心をお届けする”
自動車保険・火災保険・傷害保険・積立保険
事故相談・その他損害保険全般
大同火災代理店
宮城保険事務所
浦添市伊祖3-5-11
☎(098)878-9464 FAX(098)878-5902

（一社）北那覇青色申告会女性部

『子供税金教室』開催

十一月二六日、那覇市立城東小学校において、六年生一二五名を対象に「子ども税金教室」を開催致しました。

城東小学校仲盛校長、本会島袋女性部長の挨拶の後、ビデオとスライドによる授業が始まり、北那覇税務署伏見係長の説明に生徒達は真剣な眼差しで聞き入っておりました。○×クイズ問題では、皆で相談しながら○へ×へと移動し、正解すると飛び上がる程盛り上がっておりました。子ども達より「消費税が上がっても悪いことばかりではない。」「物を大切に使って生きたい」など感想を頂き、終了しました。

（一社）北那覇青色申告会青年部

浦添小で『子供税金教室』開催

地域社会貢献活動および租税教育の一環で、小学生に税金の仕組みや使われ方を知ってもらおうと、（一社）北那覇青色申告会主催、同青年部（比嘉透部長）主宰、北那覇税務署後援の「子供税金教室」を十一月二十日（水）に開催した。浦添小学校体育館で行われ、六年生児童ら百八人が参加した。

始めに学校を代表して宮城アケミ校長先生にあいさつを頂き、主催者あいさつで比嘉透青年部長は「日ごろ何気なく生活している身の回りのものが税金で賄われている。子供たちの皆さんにも税金って何だろうと知って頂きたい。」と話した。

税金教室では、北那覇税務署 比嘉真也氏が講師となり、児童らは税金がなくなった世界をアニメにしたDVDを視聴、税金の仕組みや役割、使われ方など分かりやすく説明をされた。次に青年部の與那城副部長が司会となり、「宝くじで1億円当たったら税金を払わなければいけないか？」など税金に関する○×形式のクイズが行われ、実際の紙幣と同じ紙でできた1億円分の札束が登場すると、子どもたちは代わる代わる抱えては"1億円の重み"を通して税の重要さを体感していました。

税金教室終了後、児童代表あいさつで「今日の税金教室で税金がどのように使われているのか詳しく知る事が出来、その大切さがよく分かりました。」と感想を話し、子供たちの生活の中にも身近に関わっている税金の大切さを楽しく学んでいました。

西原南小で『租税教室』開催

西原町立西原南小学校で十二月十日（火）、6年生を対象にした租税教室が開かれた。本会の大城相談課長が、五十五人の児童に税の種類や役割などをDVDやクイズで分かりやすく説明し、與那城副会長（西原地区担当）より「税金によって社会は支えられていて、豊かな生活ができる。家庭でも話し合ってほしい」と呼び掛けた。

花キューピット
日本全国・海外へお届けいたします。
・葬儀用生花
・お祝用スタンド花
・ギフト用アレンジ
・その他・・・
花の店 ポピー
金城　武雄
〒901-2131　浦添市牧港2-18-2
電話　098-878-6492・6210
FAX　098-878-6210

NPO法人
国際空手道連盟　極真会館沖縄県支部
極真空手浦添道場
責任者 宮城健志
〒901-2121　沖縄県浦添市内間4-18-7　3F
TEL・FAX　098-879-8555
KYOKUSHIN-KAIKAN OKINAWA BRANCH

県青連広場

全青色申告会税制改正要望集会!!

去る十一月二十七日衆議院第一議員会館に於いて、全国の青色申告会の代表者多数参加の下、総合研究集会並びに税制要望集会が開催されました。北那覇会からは、儀保宜裕会長始め、他十名が参加致しました。

総合研究集会では白色申告者の記帳義務化と会勢拡大について各局の取組と、ブルーリターンAデータセンター構築の対応について、各会における運用時に想定される課題等の協議が報告されました。

続いて全国青色申告会税制改正要望集会では、平成二十六年度税制改正要望として「事業主報酬制度の早期実現」「個人事業承継税制の創設」「青色申告特例控除十万円を三十万円に引上げ」の決議文が読み上げられ、採択されました。

更に地元国会議員の先生方の陳情訪問いたしました。

沖縄県青色申告会連合会女性部 平成25年度講演会

十一月六日、「目からウロコの野菜の話～病気になりにくい食べ方～」の講演会を徳元佳代子氏（シニア野菜ソムリエ）により、沖縄市社会福祉プラザにて開催されました。

「病気は、体が酸化する事で起こりやすく、抑えるには食事や睡眠、運動で予防でき、甘い物は午後三時までに食べると良い。」等がん予防に効果がある食材や食べ方について話されました。後半は、県産野菜を使ったおもてなし料理の実習を行い、協力し合いながら調理し、出来上がったご馳走は、家族へのお土産として持ち帰り、心身ともに栄養をつけた講演会となりました。

小規模企業共済制度

経営者ご自身の「現役引退後の生活資金」のことをお考えですか?

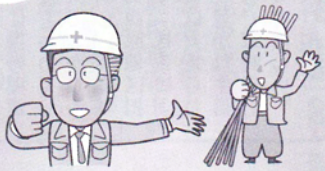
年金だけでは不十分で、不安がある。自分で積み増しするには、どんなものがあるのかな…

退職金の準備を中小機構がお手伝いします。

掛金は全額所得控除

1 加入し、掛金を毎月積み立てておけば…

2 将来、「廃業」「役員退任」等が生じたときに共済金を受け取れます。



3 現役引退後の安心した生活設計が図れます。

★毎月3万円の掛金（年間36万円）で、例えば課税対象所得400万円の方なら、約11万円の節税になります。（左図は確定申告書の記載例）

●共済制度の詳しい内容は、パンフレット等を必ずご覧ください。

共済制度の運営機関
中小企業と地域振興をもっとサポート
独立行政法人
中小企業基盤整備機構
〒105-8453 東京都港区虎ノ門3-5-1 虎ノ門37森ビル

共済相談室 TEL 050-5541-7171
URL http://www.smrj.go.jp/kyosai/index.html
小規模企業共済 検索

納貯組合ニュース

北那覇青色申告納税貯蓄組合

平成二十五年度 中学生の 税についての作文

全国納税貯蓄組合連合会が主催しております「中学生の税についての作文」の入選文の決定がなされ、北那覇納税貯蓄組合での上位入選作品をご紹介致します。

☆日本税理士会連合会会長賞

「税金の重み」

昭和薬科大学付属中学校三年　宮城　遼

現在この日本国では様々な種類の「税金」が日々何千万人もの国民から徴収されています。例えば一番身近な主に商品にかかる消費税、個人の収入などにかかる所得税をはじめ、他にも土地や家屋などにかかる固定資産税などなど、大人になれば税負担が重くなるようです。

では、なぜこんなに大量の税金が徴収されているのでしょうか？調べてみると、税金は国や地方の収入として集められていて国の収入の約四十七パーセント程を占めているようです。そしてその税金は学校での教育費や警察・消防費や医療費などに使われるそうです。

さて、僕たち子どもは大人に比べて税金を払う感覚は薄いと思いますが、そんな子どもたちでも誰もが一度は支払ったことのあるであろう税が消費税です。現在の日本の消費税率は五パーセントですが、遥か昔の律令制度の時代には租税というものがあり、収穫した米の約三パーセントを納める決まりがあったようです。しかし最近では、消費税率を十パーセントにしようという案が出たり消えたりしているわけです。それもそのはず、国の収入の約四十六パーセントは公債金という借金のようなもので賄われているそうですから。

そうした借金を少しでも減らせるように今までより高い税金を払っているのは今の世代の人たちですが、借金自体を返済するのは僕たちの子孫であると思います。もしかするとその世代でも借金が増大したり税率がさらに上がっていたりしているかもしれません。

しかし、そうこうして集められた税金は決して無駄な使い方はされていないようです。国の支出の約三十一パーセントは社会保障のために使われています。年金や医療、介護や生活保護などの社会保障の恩恵を比較的多く受けている老人たちが増え、その手助けをしたりその費用を払うための働き手となる若者の数が減っていっているこの少子高齢化社会では、一人の老人の生活を支える若者の人数が近年減っているようです。約四十年前は七・八人の働き手で一人の老人を支えていたのが最近は二・三人で一人の割合となっているそうです。このままでは保護を受けきれない老人は増えるばかりでしょう。そうした問題を起こさないためにも最も重要なのが社会保障費用の収入源である税金を一人でも多く、一円でも多く集めることだと思います。

消費税が五％上がることも自分の所得からいくらか差し引かれることも単純に考えるとあまり賛成し難いものだと思うかもしれませんが、そのお金が社会のために使われていると考えると、安いものだと思いませんか？

平成25年度　応募状況

組合名	学校数	作品数
北那覇	22	2,289
那覇	29	2,342
沖縄中部	29	3,100
北部	20	607
宮古	14	301
八重山	15	243
計	129	8,882

居酒屋 松乃屋

代表者 儀間 真明

〒901-3123　久米島町字大田567

電　話　098－985－3954

営業時間／18:00～24:00（日曜定休）

印刷全般

西原印刷

■〒903-0112
■沖縄県西原町字我謝241-72
■tel 098-945-3475　■fax 098-945-3470

☆全国納税貯蓄組合連合会会長賞

「将来を担う子供たちのために」

那覇市立城北中学校三年　知念穏希

僕の家は、母と僕が住む「母子家庭」です。母は、僕が二歳の時に離婚し、女手一つで今日も僕を育ててくれています。

母は大手スーパーのパートとして、家計を遣り繰りしています。出勤時間は一定ではなく、不規則な生活を辿っています。毎日大変な中、母は一度も僕に弱音を吐いたことがありません。また、僕が幼い頃から極力本を買ってくれたりと、少しばかり教育熱心な母です。しかし、中学校や高校と進学する度に莫大な学費がかかり、母は苦しいことだと思います。そんな中、母を救ってくれたものは、生活を保護してくれる「母子扶養手当」や学費を手当してくれる「就学援助費」などでした。これによって母の負担も軽減されたと思います。

僕は毎日、家庭を守ってくれる税に感謝しながら、勉強や行事、生徒会活動に取り組んでいます。しかし、税に感謝している僕ですが、「税」についてあまり知りません。僕らを守っている税はどこから取っているのか、どんな事に使われているのか等、様々な疑問を思った機会に僕は、税について調べてみることにしました。

まず、税は様々な形で納められていました。国民や県民、市町村民からの住民税、会社に勤めている人や商売をしている人からの所得税等と国や地方に、税を納めていることがわかりました。

次に、税金はどこに使われているのかを調べました。すると、国の歳出の半分が僕達、国民のために使われていました。社会保障や公共事業など身の周りが税金から成り立っているのだと実感できました。しかし、国の借金は約九六〇兆円になり、日本の人口を一億二千万人と考えると、国民の一人当たり八百万円の借金を抱えているということになります。これから先、消費税が十パーセントまで上がると聞き、僕は反対の意志がありますが、それ以上に賛成の思いでいっぱいです。無駄なことに使うのはゆるせないことだけど、これから先、社会保障や学習環境を充実させるために使われるのならば、僕は大賛成です。

僕は今、中学三年生で受験が待っています。仮に、合格したとして、次は大学入試、就職試験等、多くの壁が立ちはだかることだと思います。僕はその壁を乗り越えて、立派な社会人になることを心に誓い、日々の勉強を頑張っていきます。

税を自分で払える歳になったら、払うべき税を全て払い、今まで育ててくれた母に恩返しをしたいと思います。

税は、「取られている」という考えを持つのではなく、国や地域、人々に感謝の気持ちを込めて納めるものだと思います。「感謝」という名の税を納めることで、国や地域のためになり、これから先、日本を担う子供たちのためになるのだと僕は思います。

☆全国納税貯蓄組合連合会優秀賞

「税金と沖縄」

昭和薬科大学付属中学校三年　大門亮太

私はこれまでに税金というものに対して正直、関心を持たぬまま日々を過ごしてきました。今回、改めて税金を見直すと共に、私が住んでいる沖縄県では、どのような形で税金が関わっているのか調べてみることにしました。

実際、沖縄県に対する国からのお金の給付額の多さに驚きました。具体的には国庫支出金と地方交付税をあわせて約三億円、これは全国十二位であり、人口ひとりあたりでは二六万円、これも全国七位の高水準でした。この事実に気がついたとき、私は、沖縄県は税金の給付の面で優遇されていてありがたいな、と思いました。しかし、また同時になぜこんなにも高額なお金が沖縄県に対して給付されているのだろう、と疑問にも思いました。

この高い給付額の理由は、地理的事情、歴史的事情の二点にあるようです。まず地理的事情としては、沖縄県は南北約四百キロメーター、東西約千キロメーターに及ぶ広範囲の海域に多数の離島があって、財政維持が困難であること。また、戦後約二七年間はアメリカの統治下にあり、本土復帰をした一九七二年当時、高度経済成長を終えた本土との社会基盤等の差は大きかった、という歴史的事情もあげられるようです。

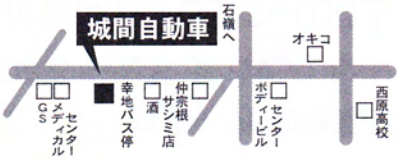
一方で、沖縄県の平均年収は全国で最低の水準でもあります。こういった状況もあってか、税金は無駄遣いされているのではないか、お給料から税金を引き抜かれることに対してあまりいい気持ちがしない、という人もいるようです。母に話を聞いてみると、「みんながみんな、お金に余裕があるわけでは無いんだよ、それでも、法律で決まっているからしかたないよね。」と言っていました。ですが、私は考え方次第で、この気持ちの持ちようは変わるのではないかと思います。というのも、税金が財源になって、公共のみんなに巡り巡って役に立っている例がたくさんあるように思います。例えば税金は、みんなが使える公園や図書館、それからお年寄りのための年金や、介護の費用になっています。特に重要なのは、本当にお金に困っている人を助ける生活保護にも使われているということです。

以上のような現状をふまえてよくよく考えてみると私たちは、みんなの献身的な納税によって支えられているのだと実感することが出来ます。ただの中学生の一人である私はもちろん働くことも（消費税は除き）納税もしたことはありません。しかし、お金を稼ぎ、そこから税金を納めることがいかに大変かは想像できます。常に感謝の気持ちを忘れず、将来的には沖縄県にとどまらず、日本のみんなに、少しでも「恩返し」が出来る大人に私はなりたいと強く思いました。

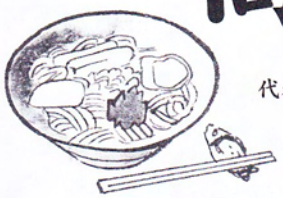
アパート　カーサ☆フィオーネ

所在地　名護市字宇茂佐の森２丁目３番地４
構造　鉄筋コンクリート４階建
２LDK12戸　29K4戸
（名護バスセンターまで徒歩５分）
所有者　岸本孝一
管理会社　いい部屋ネット　大東建託
名護店 0980-53-3416
お部屋探しは　http://e-heya.kentaku.net

三菱・ダイハツ・スズキ協力店
城間自動車
西原町字幸地６５４－２
〒903-0116 944-3939
サンキューサンキュー
中古車販売
新車販売
車検整備
鈑金塗装
保険業務



印刷用紙・包装用紙・コピー用紙
合資会社 安謝紙商会
代表取締役 照屋清助
〒900−0002（本店）沖縄県那覇市曙２丁目９番１９号
電話（098）861−0077
〒900−0002（支店）沖縄県那覇市曙２丁目８番２７号
電話（098）861−2101　FAX（098）866−5848

沖縄そば
高江洲

代表者　高江洲　清仁
☎878-4201
〒901-2132　沖縄県浦添市伊祖3-36-2

武徳　継続　忍耐
儀保空手道場
範士十段 儀保宜裕

沖縄県空手道
古武道 小林流
翔武館総本部

塗料の総合百貨店
株式会社 儀保ペイント商会
代表取締役　儀保宜裕

大阪名物
でかうまたこやき
きぼたこ
経営者　具志堅育子
〒901-2121　沖縄県浦添市内間３丁目20番１号
TEL/098-877-2672　http://gibopaint.com

南星電気工事社

電気工事・設計・見積・施工・ナショナル住宅設備機器販売・エアコン
冷蔵庫・洗濯機・電気温水器販売・PHS（電話）・パーソナルハンディホン販売

代表者　新　本　乗　義

事務所　〒902-0062　那覇市松川2丁目7-14（指帰橋際）電 話（098）832-5287
ﾌｧｯｸｽ（098）855-5209

会員の皆様には、割引特典がついております。

営業時間 AM.11:00～PM.8:00（水曜日定休）

ブライダルリング専門店

Diamond Artist Ms'［エムズ］
ダイヤモンドアーティスト

那覇新都心本店　〒900-0005 沖縄県那覇市天久１丁目28番26号
TEL：098-861-5554　FAX：098-861-6717
http://www.ms-ring.com

人間力を充実　　学力を充実

怖れず　侮らず　気負わず

SIBA
SHOGAKUIN INTERNATIONAL BUSINESS ACADEMY
専修学校 尚学院国際ビジネスアカデミー
0120-61-3515

高校生課程・大学受験科
尚学院
那覇尚学院867-3515　沖縄尚学院932-3512

尚学院
小・中学部
SHOGAKU JPS Junior Prep School

那覇教室 863-3684　沖縄教室 930-6000
仲井真教室 836-9541　沖尚前教室 836-2970
小禄教室 857-3055

学院長 名城政次郎　　副学院長 名城政一郎

学校法人尚学学園
沖縄尚学高等学校
沖縄尚学高校附属中学校
〒902-0075 那覇市国場747　☎832-1767・☎853-1579

理事長・高等学校長　名城　政次郎　　副理事長・中学校校長　名城　政一郎

たくましい進学校を
めざして邁進します